

予算	款	項	目	決算書
	8	2	3	264 頁

目名
道路新設改良費

事業名称
道路橋梁新設事業

1. 概要

目的	地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ快適で安全な移動や歩行ができるように整備する	対象	市民全般
事業概要	○国(国土交通省)の補助を受け市道の改良舗装工事を実施 「社会資本整備総合交付金」 ・市道清水線(清川町)、市道中原河屋線(大野町)、市道牛首線(大野町)、市道赤嶺金田菅生線(三重町)、市道浅水牟礼線(三重町)、市道南部幹線(朝地町)、市道久原柳瀬伏野新田線(三重町・清川町)、市道久原松田線(犬飼町)、市道下赤嶺原線(三重町)		

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	市道清水線道路改良事業(H25完了)	改良舗装L=320.0m W=7.0m 工事請負費	85,300	77,767	50,548	25,800		1,419	1
臨時	市道中原河屋線道路改良事業(中原工区)(H24完了)	改良舗装L=380.0m W=7.0m 工事請負費	64,484	64,102	41,666	21,300		1,136	1
臨時	市道中原河屋線道路改良事業(後田工区)	測量設計L=1200.0m W=7.0m 委託料	16,600	16,415	10,669	5,400		346	3
臨時	市道牛首線道路改良事業(大原工区)	舗装工事L=280.0m W=7.0m 工事請負費	22,000	18,855	12,255	6,200	350	50	3
臨時	市道牛首線道路改良事業(矢田工区)(H24完了)	橋梁下部工2基 上部工L=23.0m W=7.0m 工事請負費	44,063	43,463	28,174	14,300	350	639	1
臨時	市道赤嶺金田菅生線道路改良事業(H24完了)	JR負担金 負担金補助及び交付金	16,070	15,722	10,219			5,503	1
臨時	市道浅水牟礼線道路改良事業(牟礼工区)	改良舗装L=1010.0m W=9.75m 工事請負費	174,697	129,988	84,489	42,600		2,899	2
臨時	市道南部幹線道路改良事業	改良舗装L=214.0m W=7.0m 工事請負費	66,000	31,644	20,568	10,500		576	3
臨時	市道久原柳瀬・伏野新田線道路改良事業	測量設計L=1920.0m W=5.0m 委託料	61,900	27,874	18,106	9,200		568	3
臨時	市道久原松田線道路改良事業	測量設計L=900.0m W=5.0m 委託料	13,950	9,098	5,913	3,000		185	3
臨時	市道浅水牟礼線舗装補修事業(菅尾工区)(H25完了予定)	舗装補修L=480.0m W=6.0m 工事請負費	21,900	10,836	7,042	3,600		194	1
臨時	市道下赤嶺原線舗装補修事業(赤嶺工区)(H25完了)	舗装補修L=486.0m W=5.0m 工事請負費	28,450	11,807	7,674	3,900		233	1
経常	一般管理事業	使用料及び賃借料	10,573	10,359				10,359	2
計			625,987	467,930	297,323	145,800	700	24,107	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市の中心部と全町の生活拠点をつなぐ所要時間の短縮	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	25分以内			総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-1)の目標としているため			
活動指標	指標	a	幹線道路の改良率	b		c		d
	数値	目標	向上	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
市の中心部と全町の生活拠点をつなぐ所要時間の短縮	分	30	30	30
	%	83.3	83.3	83.3

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 幹線道路の改良率	%	69.2	69.2	69.3
		1.01 前年比	1.00 前年比	1.00 前年比
b		—	—	—
		—	—	—
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
本市の市道は幅員が狭くカーブが急など改良すべき路線が多い。今後も市民生活道路として都市計画道路など幹線道路と組み合わせた利便性の高い道路網の整備が急務である
対応（改善点等）
市民の日常生活を支え、市民生活に密接な関係にある幹線道路の整備・改良を計画的に進めることで、市の中心部から各町の生活拠点との時間短縮を図ることができる

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

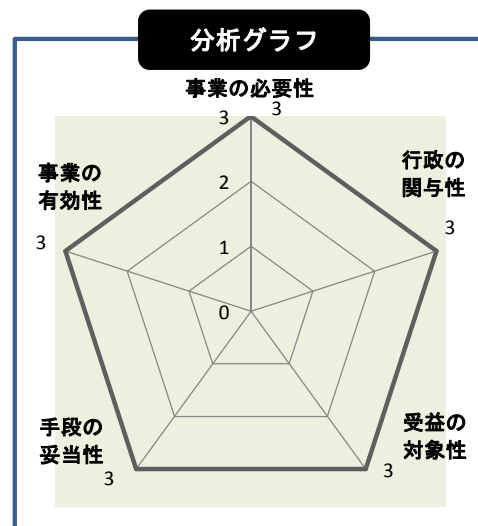
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		1,003,888	858,691	467,930	568,809
うち経常経費		9,932	11,855	8,541	8,109
財源内訳	国費	559,575	504,891	297,323	357,500
	県費				
	市債	379,500	257,200	145,800	182,500
	その他	2,109	3,206	700	900
	一般財源	62,704	93,394	24,107	27,909
うち経常		9,932	11,855	8,541	8,109
事業費に係る人件費		41,695	43,516	35,896	28,071
事業費に係る人役		9.52	10.12	8.36	6.44

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
道路改良事業は、国(国土交通省所管)の補助を受け実施する事業であり現行制度で推移するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民生活の利便性向上や産業の活性化を図る
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 道路を利用する市民
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 計画的に道路網の整備を実施している
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標達成率は向上している



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で、選択と集中を図りながら、引き続き改良に努めること。